

楽しく防災訓練を開催

今年も「ひょうご安全の日推進事業」に参加をして、10月から3月末までの間、各種防災訓練及び防災事業を展開します。

第一段として、**10月24日(日)防災訓練を開催**します。訓練は「総合防災訓練」として、グリーンシティで震度5相当の揺れに襲われたことを想定し行います。

【訓練の目的】

居住者、管理会社、関連企業、周辺住民等の参加のもとに総合防災訓練を実施し、災害時において、関係者が連携して、迅速、的確に対応できる体制の確立と、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とします。

【訓練の種類】

災害対策本部設置訓練、緊急放送訓練、緊急参集訓練、避難誘導訓練、情報収集・通報伝達訓練、消火訓練、救出救護訓練、応急復旧訓練、被災者救援支援訓練、緊急炊き出し訓練、シャットダウン訓練、応急手当訓練、災害想定訓練等があります。

【訓練のテーマ】

防災訓練は、地域を守るだけでなく、「あなたの大切な人を守る」為のスキルアップ(技能・知識向上)を図る訓練として開催します。

【災害の想定】

平成22年10月24日(日)9時30分、兵庫県で山崎断層帯主部を震源とする大規模地震が発生。加古川北部地域で震度6相当を観測し、建物の倒壊、火災発生、水道・ガス・電気・電話等ライフライン施設の寸断、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生。折からの秋雨前線による大雨により河川は増水しており、氾濫の発生が切迫している。

【被害の想定】

今回の訓練では、地震により火災が発生、家具の転倒で下敷きになり心肺停止の状態。

【なぜ訓練が必要なの?】

【例1】

火災が発生し、逃げ遅れた家族が家の奥に残っている場合に「消火器の使い方も知らない」では、家族を見殺しにしてしまう!近所に助けを求めに行ってる間に、火の勢いは恐ろしいスピードで燃え広がってしまいます。家族を救う為には「**消火器の使用方法**」「**屋内消火栓の使用方法**」「**最新の消火アンプルの使い方**」をマスターしておけば家族を救うことができます。

【例2】

家族が急に倒れた!どうしたら良いんだ...?「救急車を呼ぼう!」しかし、救急車は通報から到着まで6分程度を要する。この6分間に何もしなければ、家族は死へのカウントダウンが加速する。ところが、6分間にできることはたくさんある。それが何かを知ることができるのは「**応急手当講習**」の受講!!たった、6分間にあなたができることをやれば、大切な家族を限りなく

「生存」へ導くことができます。

【例3】

防災活動や減災方法は判っていても、あなた自身に迫る災害を知らずして備えることはできません。備える為には、あなたの地域で起こる災害因(災害の原因)を知り、それで発生する被害を理解して初めて、備える方法や備えなければならないものが判るので。その為に「**災害図上訓練**」に参加して、あなたの受けるであろう被害に対して迎え撃ちましょう。そうすれば、あなたの大切な人は命も失わずに済みます。

【例4】

「防災訓練にどうしても参加できない」そんなあなたにも、参加できる防災活動があります。災害時に、自分にできることを前もって「**町内チャンピオンマップ**」に登録するだけでも、自分の大切な人を守ることにつながります。

【例5】

防災訓練なんて「参加しても自分には何もできない」「自分には体力的に無理」と思われている方へ、あなたにもできることはあります。自分の身を守る為に災害時は要援護者になる可能性があることをあらかじめ知らせることで。身体的に不自由がある等を「**ひと声掛けて登録**」に登録しておけば、もしもの時にできる限り早い時点で、あなたへ声掛けをすることができ、避難支援やその他お手伝いすることも可能になります。これも、あなたができる防災活動・防災訓練ですよ。



【訓練のスケジュール】

- 第1部:** 消防訓練 午前9時30分~正午
(内容 通報、初期消火、避難誘導)
- 第2部:** 災害図上訓練 午後2時~午後4時30分
(内容 災害ロールプレイングゲーム)
- 第3部:** 普通救命講習 午後6時~午後9時
(内容 心肺蘇生法、AED使用方法)

【お知らせ】

- ・第1部・第2部・第3部の出欠を確認します。
(参加記念品用意のため)
- ・第2部(災害図上訓練)と第3部(普通救命講習)は、定員があるため、申し込みとします。
(申し込みが多い場合は先着順とします)
- ・第3部の普通救命講習は、初めて講習に参加する方と更新講習(2年ごとが目安)の方、両方を受け付けます。更新の方は、申込書に修了証番号を記入。
それぞれ**申込書**にご記入の上、管理事務所(夜間はドアポスト)へ提出をお願いします。